

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	沖田化成様本社工場	階数	地上2F
建設地	静岡県浜松市南区御給町字御給前	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、法第22条区域	平均居住人員	48人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年3月9日
敷地面積	5,010 m <sup>2</sup>	作成者	中村圭介
建築面積	3,072 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	3,681 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
これはCASBEE静岡(2016版)による評価結果です。		
<b>Q1 室内環境</b> 開口部に複層ガラス・ブラインドを採用するなど、温熱環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 天井高を2700、設置するなど、心理性・快適性に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> OAフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 広告物照明を行わないなど周辺環境を配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要				
建物名称	沖田化成様本社工場	BEE	1.1	BEEランク
		B+	★★★	

2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.6	/5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.5	/5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.8	/5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
				がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点	3.6
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>③ブラインドによりグレアを制御。</li> <li>④外壁:金属断熱サイディング(塗装):30年。</li> <li>④天井:化粧石膏ボード:30年。</li> <li>④壁:ビニルクロス貼り:20年。</li> <li>④床:ビニル床シート:20年。④給水:B、給湯:D、排水:B、通気:A、Eは不使用。</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤外構緑地指数20%以上を確保した。</li> <li>⑥道路・隣地に面する部分の緑が連続するように外構植栽計画を行った。</li> </ul> </li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦一部ペアガラスによる断熱化。</li> <li>⑨LED照明の採用。</li> </ul> </li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑪省水型機器の採用。</li> <li>⑫躯体材料以外にリサイクル材使用。</li> <li>⑬内装が乾式工法で分別が容易、OAFフロア採用。</li> <li>⑬発泡剤断熱材はノンフロン製品を採用</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>⑭省エネルギー対策。</li> </ul> </li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ①	外皮性能	
		Q-1 3 3.1 3.1.3 ②	昼光利用設備
		3.2 3.2.1 ③	昼光制御
		Q-2 2 2.2 2.2.1 ④	躯体材料の耐用年数
		2.2.2 ④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
	2.2.3 ④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
	2.2.4 ④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
	2.2.5 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
	2.2.6 ④	主要設備機器の更新必要間隔	
	Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出	
	3 3.2 ⑥	敷地内温熱環境の向上	
	LR-1 1 ⑦	建物外皮の熱負荷抑制	
	2 ⑧	自然エネルギー利用	
	3 ⑨	設備システムの高効率化	
	4 4.1 ⑩	モニタリング	
	4.2 ⑩	運用管理体制	
	LR-2 1 1.1 ⑪	節水	
	1.2 1.2.1 ⑪	雨水利用システム導入の有無	
	1.2.2 ⑪	雑排水等利用システム導入の有無	
	2 2.1 ⑫	材料使用量の削減	
	2.2 ⑫	既存建築躯体等の継続使用	
	2.3 ⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
	2.4 ⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
	2.5 ⑫	持続可能な森林から産出された木材	
	2.6 ⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
	3 3.1 ⑬	有害物質を含まない材料の使用	
	3.2 3.2.1 ⑬	消火剤	
	3.2.2 ⑬	断熱材	
	3.2.3 ⑬	冷媒	
	LR-3 1 ⑭	地球温暖化への配慮	
	2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善	
<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点	2.5
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯	耐震性	
	2.4 2.1.2 ⑯	免震・制振性能	
	2.4.1 ⑰	空調・換気設備	
	2.4.2 ⑰	給排水・衛生設備	
	2.4.3 ⑰	電気設備	
	2.4.4 ⑰	機械・配管支持方法	
	2.4.5 ⑰	通信・情報設備	
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点	2.5
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</li> <li>⑲階高:3.85m。</li> <li>⑲壁長さ比率:0.08</li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱	ユニバーサルデザイン計画	
	3 3.1 3.1.1 ⑲	階高のゆとり	
	3.1.2 ⑲	空間の形状・自由さ	
	Q-3 3 3.1 ⑳	地域性への配慮、快適性の向上	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点	2.8
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉑まちなみ景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)</li> <li>⑤外構緑地指数20%以上を確保した。</li> <li>⑥道路・隣地に面する部分の緑が連続するように外構植栽計画を行った。</li> </ul>	Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出	
	2 ②	まちなみ景観への配慮	
	3 3.2 ⑥	敷地内温熱環境の向上	
	LR-2 2 2.5 ⑫	持続可能な森林から産出された木材	
	LR-3 2 2.2 ⑮	温熱環境悪化の改善	